

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

10月2日(水)～8日(火)の期間は、「14 練習会場使用上の注意事項」、「15 練習会場使用日程」に基づき練習することができる。なお、練習に際しては、競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、メイン競技場第4ゲート(200mスタート地点外側)に設ける。 ※ 陸上競技会場案内図参照
- (2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。
- (3) 招集の方法
 - ① 競技者は招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受けること。なお、代理人による点呼は認めない。
 - ② 2種目同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻30分前までに所定の「2種目同時出場届」(監督会議時に配布。予備は招集所近くに設置するTICに用意。)に記入し、TICに提出すること。
なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後、ただちにフィールド種目の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。また、フィールド競技の途中でトラック種目に出場する競技者は、競技開始前に担当競技役員にその旨を申し出ること。
 - ③ 棄権する場合は、招集完了時刻30分前までに所定の「欠場届」(監督会議時に配布。予備はTICに用意。)をTICに提出すること。また、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとする。

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が大2枚(胸・背用)と小2枚(トレーニングシャツ・手荷物用)を配布する。
- (2) 着用については、競技規則143条7、8、9を厳守すること。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配布する。
- (4) 競歩種目については、都道府県ナンバーと同じ番号の腰ナンバー標識を用いる。

5 競技場の入退場について

- (1) 競技場の入退場は、すべて競技役員の指示・誘導に従う。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通り退場すること。

6 競技の抽選並びに番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者ナンバーの左に数字で示す。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、番組編成・記録速報所(メインスタンド正面2ヶ所と選手・監督控所入口)に印刷物で掲示する。
- (3) トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に、同記録があったときは、0.001秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める。(競技規則第167条2)
ただし、空きレーン、もしくは走路に余裕(スタート時に1列で整列できる場合)がある場合は、(800mは複数割り当て可能。1500m、3000mはオープンレーン)同成績者は次のラウンドに進むことができる。
- (4) 抽選が必要になった場合は、当該競技者にアナウンスで連絡し、大会本部で当該競技者あるいは代理人により抽選を行う。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、主催者が代行する。

7 競技及び競技方法について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のためにフィニッシュラインを通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則第162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- ⑤ スタート時の不適切行為については、競技規則第162条5を適用する。
- ⑥ 競歩種目の警告電光掲示板は、都道府県ナンバーで表示する。

(2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は、光波距離測定器を使用する。
- ② フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。フィールド競技の練習は、原則2回とする。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
- ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2つ置くことができる。また、砲丸投・円盤投・ハンマー投は、サークル直後に主催者が用意したマーカーを1つ置くことができる。使用するマーカーは、現地において競技役員が渡す。
- ④ 棒高跳の競技者は、あらかじめ支柱の位置を所定の「アップライト申告書」（監督会議時に配布。予備はT I Cに用意。）に記入し、招集時に競技者係に提出すること。
- ⑤ 少年女子共通三段跳の踏切板は10m、成年男子・少年男子共通三段跳は13mの位置に設置する。
- ⑥ 走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合は、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。
- ⑦ 走高跳、棒高跳の決勝のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで次のとおりとする。
ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば、日本記録または大会記録を超える高さにバーを上げることができる。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後
走高跳	成年男子	1m95・2m10	2m00	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	2m22	2m25	3cm
	成年女子	1m60・70	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	3cm
	少年男子共通	1m90・2m00	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	3cm
棒高跳	成年女子	3m40・70・90	3m40	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	5cm
	少年男子A	4m40・60・80	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	4m95	5m00	5m05	5cm

(3) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入のうえ、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までにT I Cに提出すること。
ただし、準決勝・決勝においては、メンバー・オーダーに変更のある場合のみ「リレーオーダー変更届」をT I Cに提出する。
- ② リレー競技における使用マーカーは主催者が用意する。ただし、除去については使用したチームが行うこと。
- ③ 「リレーオーダー用紙」は監督会議時に配布し、予備はT I Cに用意する。また、「リレーオーダー変更届」はT I Cに用意する。

- (4) 抗議は、競技規則第146条に定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とする。）内に、競技者自身または代理人が同一日に、次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にT I Cの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員をとおして裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内にT I Cに申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は、担当総務員をとおして伝える。

(5) 助力について

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。
- ② ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- ③ 助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。ただし、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

(6) 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことにより競技者に知らされる。

8 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものとする。ただし、競技場に備え付けられていない投てき用具並びに数の少ない投てき用具については、持ち込みを認める。(日本陸連検定品に限る。)その際、希望者は競技開始時刻の2時間前から70分前までに、TICに持ち込む投てき用具とともに、「投てき用具検査申請書」を提出すること。

また、受け付けた投てき用具については、「投てき用具預り証」を発行する。そして、当該種目の競技終了後にはTICで「投てき用具預り証」を確認のうえ返却する。

なお、検査に合格した投てき用具については、一括借り上げとなり、参加競技者間で共有できるものとする。競技場備え付けの投てき用具については「16 笠松運動公園陸上競技場投てき用具一覧」を参照のこと。

9 競技用靴について

競技場が全天候舗装であるため、スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、やり投・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するようにつくられていなければならない。

なお、走高跳と走幅跳における靴底の厚さは13mm以内、走高跳の踵は19mm以内とする。

10 ドーピング検査について

- (1) 検査は日本アンチドーピング規程、及び関連規則に基づき実施する。
- (2) ドーピング検査に該当した競技者は、ドーピングコントロールオフィサー(DCO)、シャペロン、競技役員の指示に従い検査を受けること。

11 種目別表彰について

- (1) 各種目1位～8位までの入賞者(リレーは1チーム4名)を表彰する。
- (2) 入賞者は、ミックスゾーンを出たあと、競技役員の誘導によりインタビュールームを経由して表彰者待機所まで移動すること。
- (3) 表彰時は、各都道府県のユニフォームを着用すること。

12 総合表彰式について

男女総合成績第8位までに入賞の各都道府県は代表1名(優勝チームは2名)、女子総合成績第8位までに入賞した都道府県代表1名(優勝チームも1名)は、10時30分までにメインスタンド1階の表彰者待機所に集合すること。

13 一般連絡・注意事項

- (1) 衣類の広告に関する取扱いは、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に従い、違反に対しては主催者において処置する。表彰を受ける際もこれを適用する。
- (2) 更衣室は、補助競技場内に男女別に設置する。更衣の際の荷物は各自で管理すること。万一のことがあっても主催者は責任を負わない。
- (3) 記録はその都度発表する。メインスタンド前2ヶ所に印刷物を掲示する。各都道府県の記録配布棚は選手控所入り口付近に設置する。

- (4) メインスタンドへの応援旗等の横断幕の取り付けは一切禁止とする。取り付け可能な場所はサイドスタンド及びバックスタンドの最上部安全柵のみとする。
- (5) 応援は競技運営に支障のないよう行うこと。特にメインスタンドは勿論のこと、フィールド競技が実施されている付近での集団応援は禁止とする。また、フィールド競技試技時の応援は、トラック競技の進行の妨げにならないよう慎むこと。
- (6) スタンド通路に立っての応援や観戦はしないこと。
- (7) 車イス席を本来の目的以外に使用することを禁止とする。
- (8) 応急処置を必要とする時や、その他健康上の問題が生じた場合は、競技役員に申し出て救護室を利用することができる。
- (9) 競技場内での疾病や傷病などの応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わないものとする。
- (10) 競技会期間中の貴重品の管理は、各自で行うこと。
- (11) 競技者等の遺失物は、総合案内所において10月8日(火)午前10時30分まで管理する。
- (12) 棒高跳のポール輸送の取り扱いは、下記のとおりとする。
- ① 送り主が宅配便等により、下記送り先に期日指定で発送する。
 - ②

送 り 先	〒311-0121 茨城県那珂市戸崎字木戸1663-7 佐川急便株式会社 那珂営業所 気付 TEL 029-295-7555
指定配達日	9月30日(月) 佐川急便那珂営業所 必着
問い合わせ先	〒310-0001 茨城県水戸市大工町1-2-3 トモスミとビル4階 一般財団法人 茨城陸上競技協会 TEL 029-246-5483 FAX 029-246-5484 メールアドレス ibariku.uo@bz04.plala.or.jp ホームページ ibariku.com
 - ③ 送付された棒高跳のポールは補助競技場器具庫で保管する。使用の際は担当競技役員に申し出ること。
 - ④ 競技終了後、ポール保管場所近くのポール宅配受付に宅配幹旋業者の窓口を設けるので、各自で返送手続きをすること。ただし、8日(火)の最終日は設けないので、手続きは7日(月)までに行うこと。
- (13) 記録証の交付を希望する競技者は、TICにある「記録証交付願」に必要な事項を記入し、記録証代金500円(郵送料込)を添えて申し込むこと。
- (14) 競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりIDカードを配布する。競技場内を移動する場合は、必ずIDカードを携帯すること。
- (15) トレーナーステーションとウエイトトレーニング場は補助競技場内に設置する。
- (16) 競技関係提出書類の諸内容については、次のとおりとする。

	提出書類	配布先	提出先	提出時間
1	2種目同時出場届	監督会議・TIC	TIC	第1種目の招集完了時刻30分前まで
2	欠場届	監督会議・TIC	TIC	各種目の招集完了時刻30分前まで
3	アップライト申告書	監督会議・TIC	競技者係	招集時
4	リレーオーダー用紙	監督会議・TIC	TIC	各種目第1組の招集完了時刻の1時間前まで
5	リレーオーダー変更届	TIC	TIC	種目第1組の招集完了時刻の1時間前まで
6	上訴申立書(文書) (預託金1万円)	TIC	TIC	審判長公式裁定後(予・準)15分まで 審判長公式裁定後(決)30分まで
7	投てき用具検査申請書	TIC	TIC	競技開始2時間前から70分前まで
8	投てき用具借用書	TIC	TIC	随時
9	記録証交付願	TIC	TIC	競技終了後随時(18時まで)
10	プログラム訂正届	監督会議	監督会議	10月3日は16時30分まで
		TIC	TIC	10月4日～8日は8時30分まで

14 練習会場使用上の注意事項

- (1) 練習は、指定された場所・時間で行い事故防止には万全を期すこと。
- (2) 練習に必要な用器具は主催者において準備するが、投てき用具は持参したものを使用する。なお、諸般の事情により投てき用具がない場合は、TICに「投てき用具借用届」を提出して借用すること。
- (3) 練習会場の入退場時は、IDカードを提示すること。
- (4) 練習会場（メイン競技場、補助競技場、投てき場）での練習時の順番待ちは、当該競技者のみとし、代理者は認めない。
- (5) チューブやメディシンボール、ミニハードル、ラダー等の補助用具を使つての練習は全面禁止とする。
- (6) メイン競技場

- ① 公式練習日はトラック種目及び走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳の使用を認める。なお、逆走は禁止とする。また、やり投は助走練習のみ使用可とする。

競技会当日の朝の時間帯の練習は、原則トラック種目のみ使用可とする。しかし、棒高跳に限り練習会場使用日程に記載した時間での使用を認める。

② 使用区分

- ・ 1～2レーン：中・長距離、競歩
- ・ 3～5レーン（ホームストレート）：短距離
- ・ 6レーン（ホームストレート）：少年女子B100mハードル（ハードル移動不可）
- ・ 7レーン（ホームストレート）：少年女子A100mハードル（ハードル移動不可）
- ・ 8レーン（ホームストレート）：少年男子共通110mハードル（ハードル移動不可）
- ・ 9レーン（ホームストレート）：成年男子110mハードル（ハードル移動不可）
- ・ 3～7レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離、リレー
- ・ 8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）女子400mハードル
- ・ 9レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）男子400mハードル
- ・メインA・Bピット：走幅跳、三段跳
- ・バックピット：棒高跳
- ・Aゾーン：やり投
- ・Bゾーン：走高跳

(7) 補助競技場

- ① トラック種目、跳躍種目の使用は原則として以下のとおりとする。なお、逆走は禁止とする。

② 使用区分

- ・ 1～2レーン：中・長距離、競歩
- ・ 3～6レーン（ホームストレート）：短距離
- ・ 7～8レーン（ホームストレート）：100mハードル、110mハードル（混雑時のハードルの移動不可）
- ・ 3～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離、リレー
- ・ 7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
- ・ A・Bピット：走幅跳、三段跳
- ・ Aゾーン：棒高跳
- ・ Bゾーン：走高跳

- ③ ハードル種目及びリレー競技が行われる日は、それぞれの優先レーンを増やし、練習場を確保する。ただし、混雑時のハードル移動（インターバルの変更）は禁止する。詳細については、練習会場係の指示に従うこと。

- ④ 雨天走路の使用は競技場側をスタート地点、体育館側をフィニッシュ地点とし、危険防止に努めること。

(8) 投てき練習場

下記会場での練習は投てき種目の該当種目のみとし、「15 練習会場使用日程」に基づき行うこと。

- ・投てき場：砲丸投、円盤投、ハンマー投
- ・野球場：やり投

15 練習会場使用日程

会場	種目	10月2日(水)	10月3日(木)	10月4日(金)	10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)
		公式練習日	公式練習日	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目
メイン競技場	トラック	9:00～16:00	9:00～16:00	7:00～8:30	7:00～8:30	7:00～8:30	7:00～8:30	
	走高跳 Bゾーン	9:00～12:00 女子	9:00～12:00 男子					
		13:00～16:00 男子	13:00～16:00 女子					
	棒高跳 バック側	9:00～12:00 男子	9:00～12:00 女子	7:00～8:30 成年女子専用	7:00～8:30 少年男子A専用			
		13:00～16:00 女子	13:00～16:00 男子					
	走幅跳 メイン側	13:00～16:00	9:00～12:00					
	三段跳 メイン側	9:00～12:00 男・女	13:00～16:00 男・女	7:00～8:30 男・女	7:00～8:30 少年女子共通専用	7:00～8:30 少年女子共通専用		
	やり投 Aゾーン	9:00～12:00 助走のみ	9:00～12:00 助走のみ					
補助競技場	トラック	9:00～17:00	9:00～17:00	7:00～18:00	7:00～18:00	7:00～18:00	7:00～18:00	7:00～11:00
	走高跳 Bゾーン 3日目を降 Aゾーン	9:00～12:30 男子	9:00～12:30 女子	8:00～12:00 男子	8:00～12:30 成年男子専用	8:00～12:20 少年男子共通専用	8:00～9:15 成年女子専用	
		13:00～16:30 女子	13:00～16:30 男子	12:30～16:30 女子	13:00～16:30	13:00～16:30		
	棒高跳 A ゾーン	9:00～12:30 女子	9:00～12:30 男子	7:00～9:20 成年女子専用	7:00～7:55 少年男子A専用			
		13:00～16:30 男子	13:00～16:30 女子	10:00～17:00 少年男子A専用				
	走幅跳 トラック側 レーン	9:00～16:30	9:00～16:30	7:00～16:30	7:00～9:10 少年女子A専用	7:00～11:25 少年男子A専用	7:00～9:00 少年女子B専用	
					9:30～16:30	12:00～16:30	9:10～12:45 少年男子B専用	
	三段跳 外側 レーン	9:00～16:30 踏切板 13mのみ	9:00～16:30 踏切板 13mのみ	7:00～9:10 少年男子共通専用	7:00～16:30 踏切板設置なし	7:00～9:05 少年女子共通専用	7:00～9:00 少年女子B専用	
9:20～13:05 成年男子専用				9:30～11:25 少年男子A専用		9:10～12:45 少年男子B専用		
14:00～16:30 踏切板設置なし				9:30～16:30 走幅跳レーンに変更				
投てき 練習場 (投てき場)	砲丸投	9:00～16:00	9:00～16:00	8:00～13:35 成年女子専用	8:00～9:40 少年女子共通専用	8:00～10:50 少年男子B専用	8:00～11:25 成年男子専用	
				14:00～16:00	10:00～16:00	11:00～16:00		
	円盤投	12:00～14:00 男子	12:00～14:00 女子	9:00～11:40 少年女子共通専用	8:00～9:05 成年女子専用	8:00～13:30 少年男子共通専用		
14:00～16:00 女子		14:00～16:00 男子	12:00～16:00	9:10～16:00				
ハンマー投	9:00～12:00	9:00～12:00	8:00～8:45 少年男子A専用					
投てき 練習場 (野球場)	やり投	9:00～16:00	9:00～16:00	8:00～16:00	8:00～13:00 成年男子専用	8:00～9:00 少年女子共通専用	8:00～9:05 少年男子A専用	
					13:00～16:00	9:00～16:00	9:10～14:00 成年女子専用	
競技会当日の 跳躍種目				少年男子共通三段跳 成年女子棒高跳 成年男子三段跳	少年男子A棒高跳 少年女子A走幅跳 成年男子走高跳	少年女子共通三段跳 少年男子A走幅跳 少年男子共通走高跳	少年女子B走幅跳 成年女子走高跳 少年男子B走幅跳	
競技会当日の 投てき種目				少年男子Aハンマー投 少年女子共通円盤投 成年女子砲丸投	成年女子円盤投 少年女子共通砲丸投 成年男子やり投	少年女子共通やり投 少年男子B砲丸投 少年男子共通円盤投	少年男子Aやり投 成年男子砲丸投	

- ① 荒天等で競技日程が変更になった場合は、練習日程も変更する。
- ② 補助競技場の跳躍ピットに、女子三段跳び用(10m)の踏切板がないため、メイン競技場で第1日目から第3日目までピットを開放する。
- ③ 補助競技場での棒高跳練習はAゾーンとし、第2日目までの使用とする。
- ④ 補助競技場での走高跳はBゾーンとし、第3日目よりAゾーンに変更する。
- ⑤ 補助競技場での幅跳びピットは、トラック側を走幅跳とし外側を三段跳とする。第3日目9:30より両側とも走幅跳用に変更する。